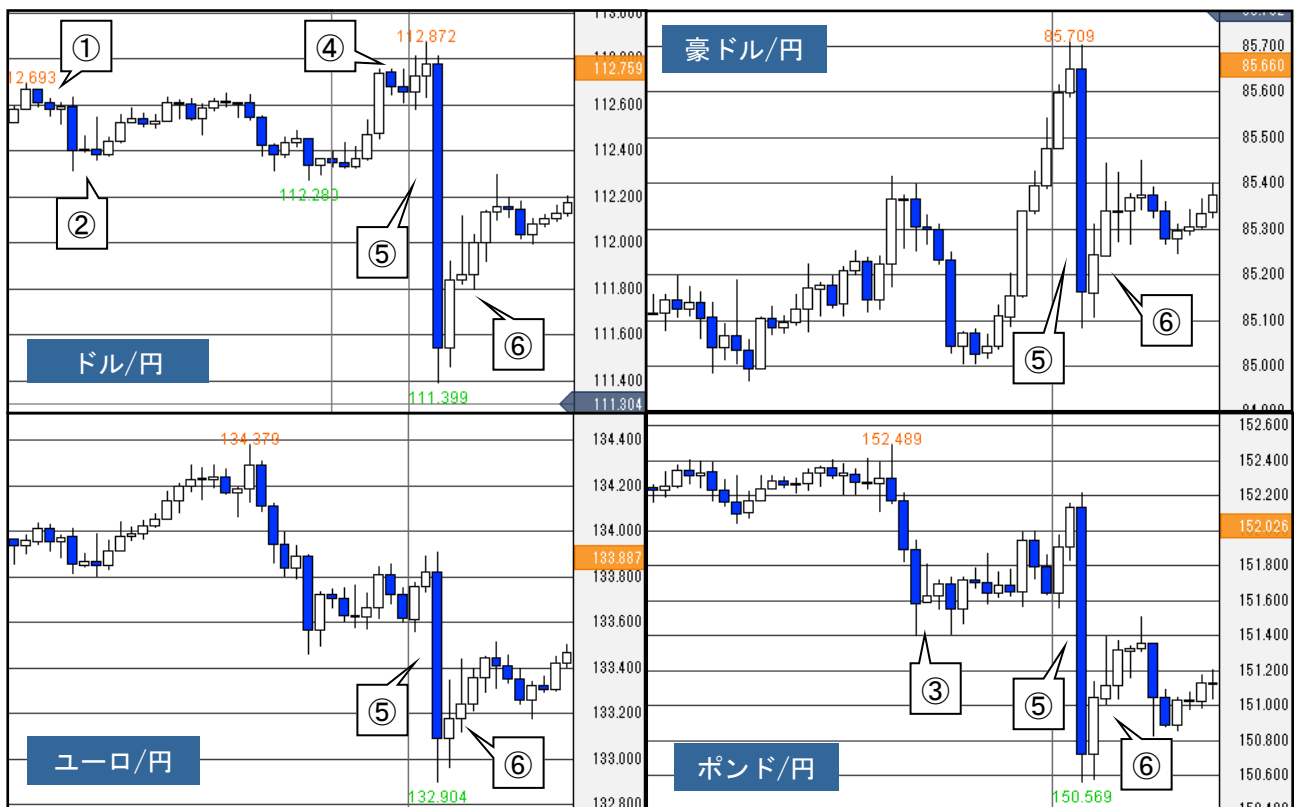


12月4日(月曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドルを巡る悪いニュースと良いニュース

1日(金)の為替相場



期間：1日(金)午前7時10分～2日(土)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 本邦11月消費者物価指数は、前年比+0.2%と予想通りに前月(+0.7%)から減速した。ただ、日銀がより重視する生鮮食品を除いた11月消費者物価指数は前年比+0.8%に加速(10月:+0.7%)した。
- ② 税制改革法案の審議を続けていた米上院は、この日の採決を見送った。共和党内の意見の調整が難航していると報じられ、一時ドルが売られる場面があった。
- ③ 英11月製造業PMIが58.2と市場予想(56.5)を上回ると、ポンド/円は下げ渋った。
- ④ 米11月ISM製造業景況指数は58.2と、市場予想(58.3)を僅かに下回った。
- ⑤ ロシアゲートに絡む疑惑で訴追されたフリン前大統領補佐官が、虚偽の供述をした事を認めた上で「大統領選挙中にトランプ氏からロシア側と接触するよう指示された」と証言する見通しと報じられた(のちに指示は選挙中ではなく、選挙後の政権移行の期間中と報道元が訂正)事を受けてドルが急落。米国債利回りやNYダウ平均も急速に下落する中、ドル/円やクロス円に売りが殺到した。
- ⑥ 米上院共和党のマコネル院内総務が「税制改革法案可決に必要な共和党票を確保」と発表。⑤を受けて2.31%台まで低下(-0.10%前後)していた米10年債利回りが低下幅を縮めた事や350ドル安まで売り込まれていたNYダウ平均が下げ幅を縮小した事から、ドル/円やクロス円も持ち直した。

1日(金)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22819.03 △94.07	5989.756 △19.864	3317.617 △0.429	7300.49 ▼26.18	12861.49 ▼162.49
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24231.59 ▼40.76	0.0350% ▼0.0040	2.534% △0.035	1.233% ▼0.098	0.305% ▼0.062
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.7720% ▼0.0099	2.3615% ▼0.0481	58.36 △0.96	1282.30 △5.60	

外為注文情報(ドル/円)

Sell	Rate	Buy
113.30		
113.25		
113.20		
113.15		
113.10		
113.05		
113.00		
112.95		
112.90		
112.85		
112.80		
112.75		
112.70		
112.65		
112.60		
112.55		
112.50		
112.45		
112.40		
112.35		
112.30		

本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	111.900-113.300	133.000-134.500	85.000-86.100	151.300-153.000

【ドル/円】

1日のドル円は、悪いニュースと良いニュースに振り回されて乱高下した。悪いニュースは新展開を迎えたロシアゲート問題だ。ロシアとトランプ陣営の共謀疑惑に絡んで訴追されたフリン前大統領補佐官が、ロシアとの接触はトランプ氏の指示によるものだったと証言する見通しと報じられた。ドル円はこの報道で111.40円前後まで1円以上急落。その後流れた良いニュースは、米上院が税制改革法案の可決に必要な票を確保した事であり、この報道によってドル/円は反発。2日の上院本会議で税制改革法案が実際に可決された事を受けて、今朝は1日の急落前の水準である112円台後半へと値を戻している。今後、米国政治の間と光のどちらにスポットが当たるかによってドル/円の相場展開は大きく変わる公算が大きく、目先のニュース・ヘッドラインに振り回されやすい流れが続きそうだ。

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 執筆者: 神田

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
12/4(月)	18:30		(英) 11月建設業PMI	50.8	51.0
	19:00		(ユーロ圏) 10月生産者物価指数(前年比)	+2.9%	+2.6%
	24:00		(米) 10月製造業受注指数(前月比)	+1.4%	-0.4%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。